

患者さまと井上眼科病院をつなぐ「眼」の情報ペーパー

INOUYE EYE Note

井上眼科 12の専門外来

先生の、見つめてきたもの〈vol.05〉 方倉副院長
小児の近視進行抑制について / いいもの見つけた！

2022
SPRING
vol. 120

ご自由にお持ちください。



井上眼科だより



医療法人社団 済安堂

井上眼科病院グループ
INOUYE EYE HOSPITAL GROUP

公式フェイスブックで最新情報を発信しています。

神経眼科外来

原因不明の視力低下も

当外来では、視覚を眼球だけでなく脳の仕事として捉え、脳内病変による視機能異常や視神経、眼球運動障害、眼位異常に関する疾患を診ています。原因不明の視力低下や目の不調など、一般眼科ではなかなか理由がわからない問題に対しての診察を行います。眼瞼けいれん、顔面けいれんのボトックス治療にも力を入れています。



当院では、古くから神経眼科の領域に力を入れてきました。第7代目院長井上達二は、神経眼科の領域で大きな功績を残しました。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西 / 大宮

眼瞼・外眼部外来

まぶたの病気を診断・治療

眼瞼とは、まぶたのことです。まぶたを上げる筋肉（眼瞼挙筋）または動筋神経の異常でまぶたが下がる「眼瞼下垂」、まぶたが内向きとなることでまつげ（睫毛）が眼球に触り角膜を傷つける「眼瞼内反」などの病気があります。眼瞼下垂や眼瞼内反は、手術による治療を行っています。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西

ロービジョン外来

日常の中の「見えづらさ」をケア

世界保健機関（WHO）は「両目に矯正眼鏡を装着して視力を測り、視力0.05以上0.3未満をロービジョン」と定義しています。しかし、視力だけではロービジョンは判定できません。視野や差明（眩しさ）も重要なファクターです。日本にはロービジョンの明確な定義がなく、不便さを感じればケアの対象と考えています。視機能の評価、身体障害者手帳の申請や等級変更手続き、補助具の選定や、ソーシャルワーカー・患者会との連携も行っています。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西

涙器外来

涙に関する病気やお悩みに

眼の表面は、常に涙で覆われています。まぶたの上辺りにある涙腺で作られた涙は、眼球の表面を潤し、涙小管、涙囊、鼻涙管を経て鼻腔へと流れます。この涙の通り道のどこかが詰まってしまうのが涙道閉塞です。一般的な治療法は、局所麻酔をしてから「涙道内視鏡」を使って閉塞部を開放させ、シリコンのチューブを挿入して再建する方法があります。これは日帰り治療を行っています。



内視鏡による処置を多く行っております。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西 / 札幌

運転外来

眼科初の運転外来

現在運転をされ、緑内障などの診断を受けて両眼に視野欠損がある患者さまにドライビングシミュレータを体験していただき、現状の見える視野と運転能力について、ご本人とご家族の方にご理解を促します。シミュレータの結果をもとに視野欠損が運転能力に及ぼす影響を検討し、安全運転のために必要な注意点について助言します。



運転中に左右方向からの飛び出しなどのできごとが起きた際、ご自身がどの様な反応をするのか、事故を回避できるかをご確認いただけます。

外来のある施設 西葛西

小児眼科外来

お子さまの眼の健康のために

近視や遠視などの屈折異常、それによる弱視、内斜視、外斜視などの眼位異常を主に見えています。小児は視機能の発達重要な時期です。しかし、成人の様に信頼できるデータがなかなか得られません。そこで視能訓練士という国家資格を有する専門スタッフが充分時間をかけて、丁寧に対応します。



専用の待合室や診察室を設けています。お子さまが安心して診察を受けていただける雰囲気作りをしています。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西 / 大宮

屈折矯正外来

保険外適応の治療を実施

当外来では、レーシック手術や、ICL手術、レーザー白内障手術など、保険外適応の屈折矯正治療を行っています。特に白内障においては、眼内レンズの進歩と共に、自由診療のさらなる可能性が期待できます。

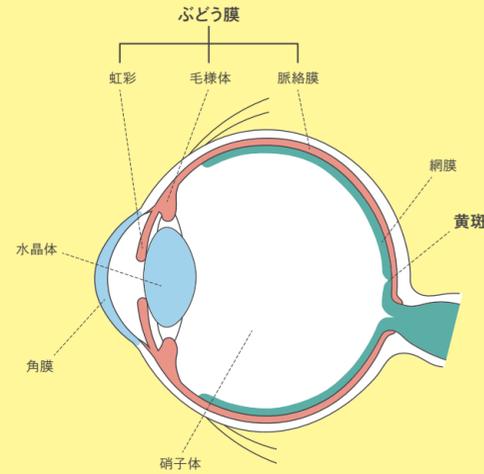
外来のある施設 お茶の水

黄斑外来

加齢黄斑変性の治療など

眼底の網膜の中央にあるのが黄斑です。黄斑には物を見るための視細胞が集中しており、異常が起こると視力に大きく影響します。加齢黄斑変性を中心に、黄斑部の病気の診察を行います。検査、診断、硝子体注射による治療や光線力学療法（PDT）を行っています。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西



■ぶどう膜：「虹彩」「毛様体」「脈絡膜」の3つの組織をまとめた呼び方
■黄斑：網膜のほぼ真ん中にある、物の細かい部分や色を見分ける働きを持つ細胞が集中しているところ

角膜外来 / ドライアイ外来

角膜の病気、ドライアイにも

角膜は、黒目の表面にある組織で、正常では透明で綺麗なドーム状の形をしています。角膜が濁ったり変形することで見え方に異常が起こります。他にも感染症（細菌、真菌、アメーバ、ヘルペスなど）や、外傷や異物による傷、遺伝性疾患、円錐角膜、水疱性角膜症など様々な病気があります。原因に合わせて点眼薬や内服薬を用いて治療を行います。当外来では、ドライアイの治療も行っています。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西

眼炎症・ぶどう膜炎外来

合併症へつながる炎症に

ぶどう膜とは「虹彩」「毛様体」「脈絡膜」の3つの組織からなり、眼にとって重要な役割を担っています。ぶどう膜炎は、ぶどう膜に起こる炎症で、隣り合わせている眼組織にも炎症が少しずつ広がり、視力の低下を引き起こします。原因を大きく分けると免疫異常によるものと、病原菌の感染が原因となるものに分類されます。非感染症の場合はステロイド薬を使用した治療を行います。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西

井上眼科病院グループには一般眼科外来の他にも、たくさんの専門外来があるのをご存知ですか？眼は非常に複雑な臓器で、実はさまざまな専門分野があります。専門外来では、症状が起こる部位やその原因に合わせて、各分野のスペシャリストが診察を担当します。眼の症状でお困りの際は、ぜひご相談ください。

専門外来の予約方法

まず一般眼科外来を受診してください。担当医が予約をお取りします。お近くの施設に専門外来がない場合は、一般眼科外来でも、気になる症状や悩みについて診察を行っております。



白内障の患者さまへ

白内障は、全施設の一一般眼科外来にて診察を行っておりますので、ご相談ください。

網膜硝子体外来

豊富な診療実績・入院設備も充実

当外来では、網膜剥離、加齢黄斑変性、黄斑上膜、糖尿病網膜症などを扱っています。的確な診断のもと、手術適応のものには従前の手術より低侵襲で負担の少ない小切開硝子体手術を基本とし、患者さまの早期社会復帰が可能になるようにつとめています。病気に対する迅速な対応と外来の拡充のため、手術と入院を西葛西・井上眼科病院に集中させています。



西葛西では、受診の間口を広げるため、一般眼科外来で網膜硝子体の患者さまを診ております。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西 / 大宮

12の専門外来 井上眼科 眼を診る 多方向から

緑内障外来

各施設に外来を設置

緑内障は、眼圧（眼内の圧力）が上がることで、視神経が圧迫されて視野が徐々に欠けていく病気です。最終的には失明にいたることもあります。当外来では、薬物治療やレーザー治療の他、年間約300件の手術を行っています。各施設に外来を設置しており、お茶の水と西葛西では入院施設も整っているため、安心して治療に当たっていただけます。



緑内障は、検査による早期発見が重要です。各施設に、視野検査をはじめ、診断に必要な各種検査機器を完備しております。

外来のある施設 お茶の水 / 西葛西 / 大宮 / 札幌



蓄積された専門知識を活かして、
眼の疾患に悩む患者さまと
日々向き合う方倉副院長。
医療にかける想いとは…

方倉 聖基

Seiki Katakura

井上眼科病院 副院長

2003年広島大学医学部卒。

広島大学病院等を経て、2011年に井上眼科病院に入局。

2019年、井上眼科病院・副院長に就任。

音楽家になる夢を変えた、 あるできごと

私の出身は大分県の豊後高田市です。自然に囲まれたのどかな町で、いつも小学校から帰ると田んぼや川で泥だらけになって遊んでいましたね。当時の私は、いとこの影響で始めたピアノに夢中で、大きくなったら音楽家になるんだ!とっていました。しかし中学生の頃、当時の私にとってショッキングなできごとが起こりました。大好きだった先生が、治療困難な難病にかかってしまったのです。このことがきっかけとなり、私は医療に強い関心を持つようになりました。薬学部に入り新薬を開発したいと考えた時期もありましたが、最終的に広島の医大に進みました。

広島から東京へ。涙道疾患の スペシャリストとして歩んできた10年

大学卒業後はしばらく広島勤務でした。広島での研修医時代はとても忙しかったのですが、恩師に病院の内外で人生を豊かにするヒントをたくさん教えていただきました。その後、東京で米国の医師免許を取るための勉強をしながら働いていました。試験には無事合格したのですが、眼科をもっと専門的に学びたい気持ちが強くなり、日本にとどまる道を選びました。そんな時に声をかけてくださったのが井上理事長です。眼科の各分野のトップが集まる井上眼科病院ですから、ここでは第一線の先生による最新の治療を目にすることができます。日本の患者さまのために経験を積みかかった自分にとって、井上眼科病院はまさに求めていた環境だったんです。私の専門は涙を介して起こる病気＝涙道疾患です。「涙目」に代表されるような、主に加齢が原因で涙道（涙が排水される通り道）が詰まってしまう涙道閉塞によって、涙があふれてしまう患者さまが多くいらっしゃいます。長年ハンカチが手放せ

ずに困っている方が、私のところで治療できるようになって、喜ばれることも少なくありません。その他にも、一般眼科外来や白内障手術も並行して行う目まぐるしい毎日ですが、日々患者さまのお役に立てていると実感することができ、とても充実しています。

自分が受けた恩を、 医療というかたちで世の中に還元していく

「ペイフォワード」という言葉をご存知ですか? 予備校の英語の先生から教わった言葉で、日本語で「恩送り」「恩渡し」などと訳されます。自分が受けた恩を返すのではなく、他の人に渡していくことで、善意の連鎖が広がるという考え方です。中学生、予備校生、研修医時代、日本に残ると決めた時も。思えば人生の節目でいつも素晴らしい先輩たちから多くのものを与えられてきました。今度は受けた恩を私が次の人に渡していく番です。自分が学んできた医療が患者さまのお役に立てれば何よりも嬉しいですし、技術や知識を後進に伝えていきたいとも考えています。治療についてお困りごとや悩みがあれば、とことん付き合いますので、納得いくまで諦めずに一緒に考えていきましょう。メンタルの不調など、眼と一見関係なさそうなことにも治療のヒントがあるかもしれませんので、なんでもお気軽に相談してください。



故郷の豊後高田市にある田染荘（たしづのしょう）。子どもの頃はこのような景色の中、泥だらけになりながら元気に遊びまわっていました。

GROUP NEWS TOPICS

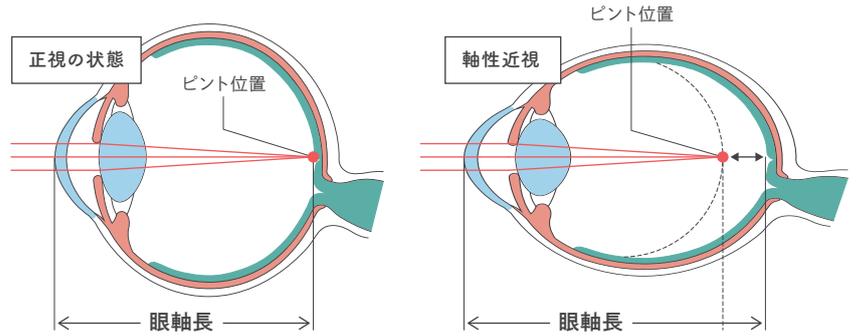
小児の近視進行抑制について

お茶の水と西葛西の
小児眼科外来では、点眼薬による
小児近視進行抑制プログラムを
行っています。

点眼薬での近視進行抑制治療

子どもの近視は、主に眼球が楕円形に伸びてしまう（眼軸長が伸びる）ことでピント位置がずれて、生じるケースが多くあります。当院グループでは、眼軸長の伸びを抑えることを目的とした、アトロピン点眼による近視進行抑制プログラムを行っています。本プログラムは低濃度アトロピン（0.01%、0.025%）点眼薬を1日1回就寝前に点眼することによって、現在の近視を進みにくくする効果が期待できます。

※自費診療のため、プログラムの開始は保険診療とは別日となります。



低濃度アトロピン 0.025%の 取り扱いを開始しました。

2022年4月より、従来の低濃度アトロピン 0.01%点眼薬に加え、0.025%点眼薬を新たに追加いたしました。濃度が高いと近視進行抑制効果が強いと言われていますが、それぞれのメリット・デメリットをふまえて、医師と相談しながらどちらを処方するか決定します。



▲詳細はこちら

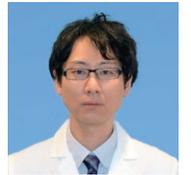


INFORMATION

西葛西 新副院長のご紹介 2022年4月1日より戸塚清人医師が西葛西・井上眼科病院の副院長に就任しました。

□新副院長からひとこと：これまで、旭中央病院(千葉県)、さいたま赤十字病院(埼玉県)、東京大学と、地域の基幹病院で勤務してまいりました。臨床経験・理念ともに尊敬できる先輩にも恵まれ、幅広い疾患に対応できるようになりました。患者さまが幸せになるような「全人的な医療」をモットーに、「正しい診断」「丁寧な診療」「的確な連携」の3点を大切にしています。

□戸塚 清人(とつか きよひと) 2004年信州大学医学部卒、2018年東京大学医学部大学院修了。眼科専門医。専門は網膜硝子体。



いいもの「見」つけた！

先生たちが最近見つけた、身近な“いいもの”をご紹介します！



近くのゴルフ練習場で新しい機器を「見」つけました。自分が打った球の飛距離、曲がり具合などが「目」でわかります。有名な海外のコースをバーチャルで回りながらの練習も可能なので、楽しく練習できます。ただ飛距離が気になって力んでしまうのが難点かもしれません。



天野 史郎
Shiro Amano

お茶の水・井上眼科クリニック
院長



那須サファリパークに行き、キリンに餌をあげた時、大きな「目」を「見」て、かわいと思いました。後で調べたら、キリンは視界が非常に広く、視力は動物の中では優れている種に分類されており、ヒトと同じ程度あるのだそうです。これから春のシーズン、緑を「見」て、動物に触れあって、「目」を癒そうと思います。



朴 華
Ka Paku

西葛西・井上眼科病院
医師



医療法人社団 済安堂

井上眼科病院グループ
INOUEYE EYE HOSPITAL GROUP

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-3 新お茶の水ビルディング 18 階
<https://www.inouye-eye.or.jp/> 【広報誌に関するお問合せ】 Tel. 03-5244-5524

井上眼科だより vol.120 | 井上眼科病院グループ広報誌 2022年4月30日発行 | 編集・発行/井上眼科病院 経営企画部 広報課

□アンケートご協力をお願い：本誌「井上眼科だより」へのご意見、ご感想を募集しています。右記のQRコード、または院内にあります「ご意見シート」に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。抽選で当院オリジナルのエコバックをプレゼントいたします。



▲詳細はこちら